

藍住町 議会だより

第55号

平成20年11月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野

字矢上前52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



楽しいもほり（北幼稚園）



CONTENTS

9月定例会	P.2
一般質問	P.6~12
議会のうごき	P.14

9月定例会

9月定例議会が9月10日から24日までの15日間の会期で開会された。

平成19年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定など13議案と、議員提案の1議案を原案のとおり可決した。

町長提案

- 平成19年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（老人保健事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（介護サービス事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（水道事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成19年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定について 原案可決
- 平成20年度藍住町一般会計補正予算について 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算について 原案可決
- 藍住町議会議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について 原案可決
- 公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について 原案可決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意について 廣瀬浩美，本田 武，奥村 葉

議員提案

- 地方の道路整備の促進と道路整備財源の確保を求める意見書について 原案可決

諮問

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて 阿部智恵

町からの主な報告

板野郡合併検討協議会 アンケート調査結果

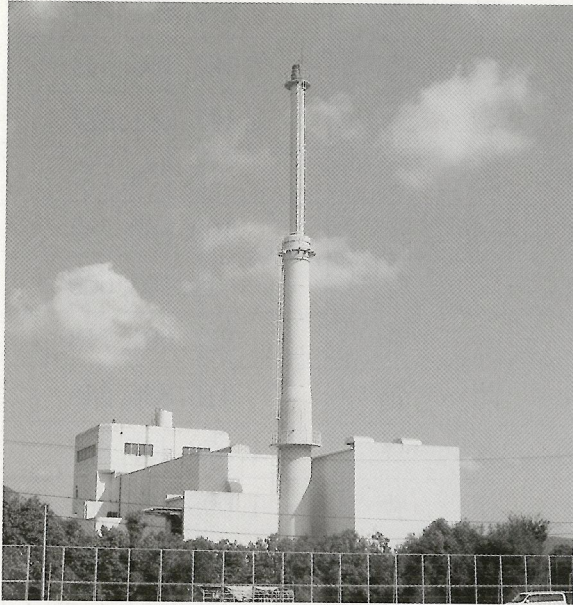
本町では、無作為に抽出した二十歳以上の住民二千人を対象に実施。市町村合併の必要性について、「必要である」「どちらかと言えば必要である」を選んだ回答者は、三七・九%であった。今回の調査結果は、まちづくりや板野郡合併協議会の今後の方向性を検討する資料として活用したい。

西クリーンステーション 改修工事完了

調整運転では、昨年度同時期と比較すると、一時間あたり焼却量は約二十%あまり増加、運転時間は逆に二時間あまり短縮しており、改修工事の効果が出ていると思う。

後期高齢者医療制度

所得の低い方の保険料負

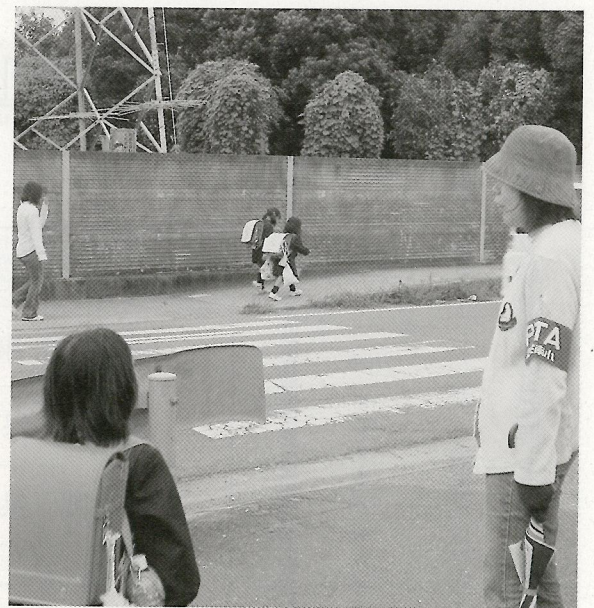


西クリーンステーション

児童の安全確保

担が軽くなるよう、制度運用の見直しが行われた。特別徴収(年金天引き)の見直しでは、国保税を確実に納付していた方が本人の口座振替により納付する場合、また、年金収入一八〇万円未満の方で、世帯主または配偶者の口座振替により納付する場合には、市町村窓口で申請していただく、口座振替でも納付できるようになった。現在、この対応事務を進めており、広報に努めている。

七月に発生した町内児童連れ去り未遂事件を受け、子供たちの安全指導の徹底、メール発信や文書配付による保護者への啓発強化、一斉集団下校の実施等を行った。また、板野警察署への安全確保の依頼や社協への協力依頼、さらに、今議会において、小学校下校時間における見回り監視員の委託についての予算計上をし



地域の人に見守られて下校する児童

中学校調理部門の民間委託

六月に全生徒・保護者を対象にアンケート調査を実施、八月に保護者意見交換会を開催、給食全般に関して様々な御意見をいただいた。今後、その調査結果やパブリックコメントの実施結果を踏まえながら、基本計画を策定、十一月には委託業者選定委員会を設置、来年三月上旬を目途に委託業者の選定を進めたい。

本町の財政

主な財政指標では、経常収支比率が八八・三%、公債費比率が一四・六%、財政力指標は〇・七三である。実質赤字比率及び連結実質赤字比率とも赤字は生じておらず、実質公債費比率は一〇・四%、将来負担比率は三六・四%であり、いずれも基準を下回り、健全な状態を示している。また、公営企業会計の資金不足比率についても、水道事業会計及び下水道事業会計とも資金不足は生じていない。一時期の危機的状況から

学校給食における事故米 混入疑い加工食品使用問題

は、いくらか改善したものの、厳しい財政環境には変わりなく、今後とも効率的な行財政運営を推進し、住民サービスの向上に努めたい。

平成十九年度に二回、町内の幼稚園・小学校・中学校の給食で出された厚焼き卵に、かびによる事故米を原料とした可能性のあるでんぷんが、一〇〇g当たり〇・七%の割合で混入していた。現段階においては、健康被害の情報はないとの報告も受けているが、今後は、正確な情報の収集に努め、安全な給食の実施に万全を期していきたい。

藍寿苑におけるメラミン 混入疑い加工食品使用問題

八月と九月に計二回、メラミンが混入した疑いのある蒸し菓子を使用。納入業者から説明があったが、今後は特に注意していただくよう要望した。

平成19年度一般会計決算認定

歳入 82億5,965万4,130円

金額 (円)

町 税	3,914,002,497
地方譲与税	121,663,000
地方交付税	1,301,969,000
各種交付金	398,482,000
分担金及び負担金	360,693,074
使用料及び手数料	266,545,804
国庫・県支出金	909,713,506
繰越金	310,425,784
町 債	492,000,000
その他	184,159,465
歳入合計	8,259,654,130

歳出 79億1,089万4,147円

金額 (円)

議会費	105,524,950
総務費	812,801,794
民生費	2,161,106,013
衛生費	1,197,581,627
労働費	15,739,773
農林水産業費	109,889,783
商工費	11,103,600
土木費	324,691,713
消防費	415,836,848
教育費	1,378,415,887
公債費	1,098,170,107
諸支出金	280,032,052
歳出合計	7,910,894,147

平成19年度 特別会計決算認定

単位：万円（1万円未満四捨五入）

事業	歳入	歳出
国民健康保険事業	29億9,584	27億221
老人保健事業	17億6,097	17億2,336
介護保険事業	16億4,219	15億6,819
介護サービス事業	1,115	1,101
藍寿苑介護サービス事業	3億453	2億7,858
水道事業（収益的収支）	4億9,992	3億3,442
水道事業（資本的収支）	2,730	4億7,806
下水道事業	6億712	5億9,993

請

願

● 1件の請願がありました。1件の請願がありましたが、賛成少数により不採択となりました。
 ● パークゴルフ場建設の見直しを求める請願書・・・不採択

平成20年度一般会計補正予算

歳入・歳出とも1億1,700万円増額
 予算総額85億700万円

主な補正の内容（1万円未満切り捨て）

- **総務費** ○ 税源移譲に伴う住民税減額申告による還付金 3,300万円
 ○ 後期高齢者医療システムその他の電算システム改修費 1,880万円
- **民生費** ○ 前年度国庫支出金等の精算返戻金 680万円
- **衛生費** ○ インフルエンザ予防接種（65歳以上）町負担増額分 220万円
- **土木費** ○ 奥野東中須排水路改良 1,300万円
 ○ 中富団地雨漏改修工事等 615万円
- **教育費** ○ 洋式トイレ設置工事費（各幼稚園） 201万円
 ○ 東中学校運動場夜間照明設備設置工事費 400万円

平成20年 第2回臨時議会

10月24日開催の臨時会において次の2議案が上程され、原案のとおり可決した。

- ・西岡恵子議員の証人出頭拒否に対する告発について・・・・・・・・原案可決
- ・西岡恵子議員の記録提出拒否に対する告発について・・・・・・・・原案可決

陳情

3件の陳情がありました。

▼『非核・平和自治体宣言（決議）』を基とした平和行政を求める陳情書

陳情者 日本青年学生平和友好祭徳島県実行委員会

▼貴議会における「国による公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める意見書(案)」採択に向けた取り組みの協力要請について

陳情者 徳島県議会林業木材振興議員連盟

▼肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書

陳情者 徳島県保険医協会

住宅用火災警報器の設置について

平成23年5月31日までに設置する必要がある



住宅用火災警報器

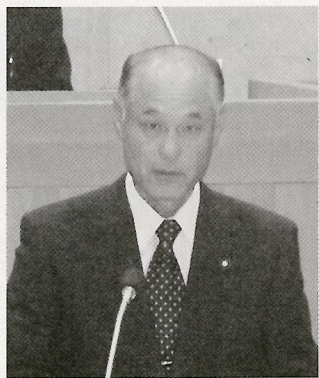
問 これまで日本では、大規模な共同住宅など一部の住宅など一部の住宅だけ設置が義務化されてきましたが、最近の住宅火災による死者数の急増等を踏まえ、総務省消防庁は、住宅火災による死者数を減少させるため、消防法を改正し、改正によって新築・既存を問わず設置が義務づけられました。本町の町営住宅の設置計画について伺います。

答 町営住宅については、所有者である町において設置を進める考えであり、方法は今後検討を進め、平成二十一・二十二年度の二年間で計画的に設置したい。

特定健康診査について

受診率目標値に近づけるよう

努力したい



古川 義夫 議員

問 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき厚生労働省令で定めるところにより保険者が四十歳以上、七十四歳までの被保険者について平成二十年度から糖尿病等の生活習慣病に着目した健診及び保健指導を行うこととなっており、藍住町国民健康保険の目標値として特定健康診査等基本指針に掲げる参酌基準をもとに特定健診受診率三十％に設定していますが、目標値の達成は可能か伺います。

答 六月末に四十歳から七十四歳の加入者を対象に、十月までに受診していただくよう受診券をお送りしている。七月末現在の受診率は約四・〇％であり、約一か月間の数字ではあるが、本年度目標値からすると低いと思われる。AIテレビや広報紙での周知、各種団体への協力依頼や各種会合での御案内、御説明を行うなど、できるだけ多くの方に受診していただけるよう努めたい。

ふるさと納税について

いかにネットワークを形成するかが成功のポイントであると考えられる

問 五月の制度スタートから三か月がたった七月末時点で県内二十四市町村は納付がなく、本町も七月末時点で申し込みがありませんでした。今後の具体的取り組みについて伺います。

答 広報紙やAIテレビ、ホームページでPR活動を実施の予定だが、本町にゆかりのある方々に直接ふるさと納税のパンフレットを送付することが最も効果的であると思う。そのためには親類縁者や同窓生、各種団体などの紹介に頼る以外に方法はなく、紹介者カードを作成して広報紙に折り込んだり、同窓会開催時にも紹介していただき、制度の御案内をしていきたい。

議会に対する町長の姿勢について

意見を申し上げる立場ではない

問 二月の町議会議員の改選後の臨時議会において就任したばかりの議長、副議長の不信任決議の動議が出されたり、三月議会では昨年六月二十九日に公布された藍住町議会政治倫理条例が、三月に施行される事なく議員の配偶者一親等及び同居の親族と緩和されました。又、一町民の投書を取り上げて西岡恵子議員の資格審査委員会が設置されました。この委員会は今日までに十二回開かれ現在も継続中です。この問題は西岡議員より議長と、投書した方二名に対して、損害賠償請求訴訟を徳島地方裁判所に提起されました。議員同士が議会内だけでなく町民をも巻き込んだ異常な事態になっております。石川町長は今の議会の現状をどう思われているか。

答 議決機関としての議会の独立性を考えると、執行機関の長たる私が町議会のあり方について意見を申し上げる立場にはない。

問 昨年九月一日より指定ゴミ袋制を導入（ゴミ袋有料化）ちようど一年、今年度の収集率はどうなっているか。又このごみ減量化に向けての町民に対しての啓発活動はどのようにしているか。

答 可燃ごみ収集量は、九月以降を十八年度と比較すると一五・七%の減少となっている。一方、資源ごみとして収集した古紙類は九・七%増、ペットボトルは三七・四%増となっており、資源の有効活用が図られている。また、コンポスト等のごみ処理機の補助実績も

ごみの減量化について 成果が上がっている



小川 幸英 議員

増加しており、ごみ減量化の意識が高まっていると考えられる。今後も広報等でこうした助成制度や生ごみを出す際にはよく水切りし、分別について周知・啓発に努めたい。

AED（自動体外式細動器）設置 導入状況について

合計26台導入している

問 現在各学校、体育施設においてのAEDの導入状況はどうなっているか。又導入された施設においていざ使用する時の為の準備や講習会等はしているのか。

答 全ての幼稚園・小・中学校、体育館等に計二十台、合同庁舎の一階と四階、保健センターと藍寿苑に各一台設置。その他、スポーツ大会などの際の貸し出し用として教育委員会で2台保有している。

昨年一月、七月にスポーツクラブ指導者、体育指導員が講習を受けているが、まだまだ多くの人に受講していただきたいので、スポーツ少年団の指導者、体育協会加盟の方々や利用者にも呼びかけ、講習の機会を設けたい。



AED

文化の町藍住町を表現・周知する観点から「歴史カルタ」を作成して町内学校教材に

本町の貴重な文化や歴史を学び、郷土に対して愛着や誇りを持った心豊かな人間として子供達を育てることや個性豊かな町民文化の振興は、教育の目標である

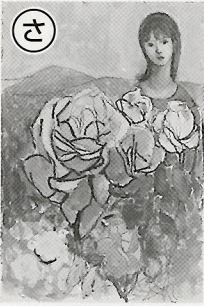
問 教育委員会発信で、文化協会・文芸協会、各流派の会長さんをはじめ、藍美展関係団体の役員の皆さん、又、今日まで町の文化行事に貢献されている方々に相談し協力をお願いされて、藍住町文化の歴史を分かり易い言葉と親しみ易い絵で表現されるような「歴史カルタ」を作成し、学校の教材にと活用して頂きたい。カルタを通して子供と地域の方々とのふれあい交流もでき、文化の町に備えての知識も養えると思うが。

答 過去にも歴史カルタは作成されているが、かなりの時間が経過し、その間に、

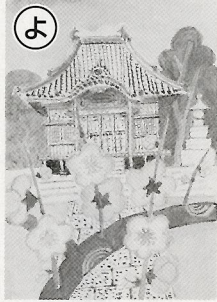
藍住町文化協会の発足や昨年の国民文化祭の実施といった大きな出来事もあった。また、勝瑞城館跡の調査において、新しい史実も確認されている。本町の誇るべき歴史や文化を盛り込んだ魅力的なカルタを作成し、広く利用していただけるよう検討したい。



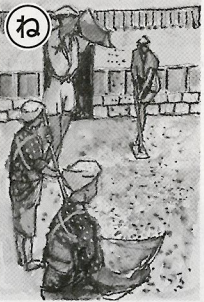
し 実休は茶の湯を阿波に伝えたり



さ 咲き競う町は明るいバラの園



よ 至鎮が愛でた臥龍の梅の坊



ね 寝せ込みの苦労が見事な藍になる

歴史カルタ（試作）



永浜 茂樹 議員

防災対策について

今後とも排水対策に努力したい

その他の質問

○ 行政と農地銀行斡旋で、耕作放棄地農家と酪農家との草草契約を

○ 緊急地震速報、一秒でも早い情報、心構えて生命を守ろう

問 町内の宅地開発、大型店進出に伴う地震、台風、豪雨による避難所安全対策であります。防災マップ・ハザードマップ等の避難場所への道路安全対策として、新設道路、側道拡幅計画等の進捗状況は。又、平成十六年二十三号台風のような水害での雨水対策、正法寺川、千間堀等、流末の排水ポンプ増設対策を。又、台風豪雨での増水氾濫時、現況把握として県の河川課等、関係機関を呼ばれているのか。町民が安心できる全町の排水対策を。又、今後予測される交通渋滞、北環状線、松茂吉野線、朝夕時間帯により車が渋滞、緩和対策として時間差信号、右折レーン等を関係機関に。

答 大型店出店に伴う道路整備は、拡幅等も含め、開発協議が行われるため、町としても交通渋滞には十分配慮されるよう意見を述べたい。

排水ポンプ増設等について、国土交通省・県に対して今までに要望してきたが、実現していないのが現状である。今後もあらゆる機会を捉えて強く要望していきたい。台風等で河川の増水により排水ポンプを稼働する場合は、国土交通省・県の職員の方が現地確認に來られている。

松茂吉野線の渋滞緩和については、県道であるので、管理者の徳島県や板野署と渋滞の分析、右折レーン、時差式信号等の協議を早急にしたい。

高齢者を守るセーフティーネットのシステム作り

地域でのコミュニケーションやネットワーク作りが重要

問 近年、近隣との付き合い等が希薄になっているとよく耳にする。高齢者にとって災害や悪徳商法、詐欺などの犯罪に遭うリスクが高い。また人との会話の回数が少なくなったり、病気がちになると心身ともに弱っていく。特に単身世帯には定期的に安否確認のできる体制を作る必要があると思うが。

答 高齢者単身世帯の定期・随時の訪問活動、見守り活動を民生児童委員さんにしていたらいい。また、

町事業として緊急通報装置に関する補助事業、軽度生活支援事業、高齢者生活支援ハウス運営事業等を実施している。町社協でも、ふれあい会食会など、他町にない取り組みもしている。災害対策や他の事業とも連携し、安心して暮らせる地域づくりを心がけている。



西川 良夫 議員

学校支援ボランティア事業

ボランティアの方の活動により教育活動が活発に機能している状況は大変ありがたいが、今後も更に支援をお願いしたい

問 教員と子供が向き合う時間の拡充の為、地域の有能な人材活用によって、子供達の学習意欲、人間関係など大きな成果が見られる。地域が総がかりで学校を支援する体制の組織づくりが

求められている。

答 組織づくりについては、学校現場と協議する中で、それぞれの学校に適した形で進めたい。

学校給食「食育」について

県教委に対し、栄養教諭の配置・増員を要望したい

問 小・中学校の朝食の欠食率は。地場産物の使用率は。給食の米は安全か。食事の内容が、やわらかい物ばかりだと、かむ回数が少なくなりあごの発育や脳にも良い影響は与えないばかりか、歯周病にもなりやすいとの専門家の指摘は、どのように認識しておられますか。

答 朝食の欠食率は、学校により多少ばらつきがあり、調査時期も異なるが、小学校全体で約一・五%、中学校では約一三・二%。米は平成十七年度から全て町内産を使用。歯の疾患予防を始めとする健康教育にあって、食育が重要と考えている。よくかんで食べることやおやつを取り方などについて、給食便りや給食放送等で栄養教諭・職員が啓発をしている。



小学校における食育授業

町政のここが聞きたい

登下校の安全

「下校時の被害防止について」
地域ぐるみで安全対策に取り組むことが
不可欠



西岡 恵子 議員

問 本町での、夏休み前の下校中、下校後の連れ去り未遂事件について、全国各地での事件は本町においても起こりうることを認識、今まで以上に安全な教育環境づくりが大切と考えます。教育委員会の見解、今後の取り組みについて尋ねます。

答 子供達への安全指導の徹底、メール発信や文書配布等により保護者への啓発強化を行ったが、板野署をはじめ、社協や地区協の皆さん、防犯推進協議会等に

対しても、なお一層の御協力をお願い申し上げた。また、下校時間帯に合わせたバイクによる見回り監視員の新設も計画している。

防災

「自主防災組織の支援」

集中豪雨対策について

より多くの地域で自主防災組織が
結成されるよう、支援に努めたい

問 二〇〇七年九月より自主防

災組織の支援強化で補助率を四分の三に引き上げ、その充実に努めておられますが、現在の登録件数について、又、組織率アップに向けて、必要最低限の資器材の現物支給への取り組みは如何か。

答 現在の自主防災組織数は九十四である。資器材の現物支給は、今後の検討課題としたい。

昨年六月に洪水ハザードマップを作成、全戸配布したが、避難すべき区域や判断基準について、本年度、避難勧告等の判断・伝達マニュアルを策定した。今後、避難勧告発令・伝達や要援護者の避難支援対策の実効性を高めるため、必要な対策を講じたい。

老人福祉～藍寿苑の現状について～

余裕のある配置、責任ある介護を行っている

問 入所者の大多数の方は明治・大正・昭和の激動期を生きてこられ、今日の日本の礎を築かれた皆様、安心して日々を送られるように最大の配慮をすべきと考えますが、ゆとりのある施設運営となっていますか。

答 職員一丸となって、相互協力しながら介護に携わっている。研修も行っており、介助員は特に一名増やしている。今後は更に余裕を持って、安心して過ごしていただけるよう配慮したい。

給食は、現在は概ね順調に調理が行われている。現在、平均で全体の約十三％が県内産であるが、今後、更に町内産を進めていきたい。



藍寿苑

その他の質問

- 不登校・登校拒否について
- 公有地及び私有地の雑草の除去について
- 藍住町男女共同参画基本計画策定について

最近全国各地で起こっている集中豪雨、本町での水害対策に



ごみ集積所

ごみ袋の価格の見直しについて

近隣市町村の状況等から決定した

問 有料化から町民の間でごみ袋が高いという声が多い。今後、見直しはあるのか。

答 指定ごみ袋の価格は、すでに実施している市町村が値上げを検討していることや、最近有料化を実施した近隣市町村の状況、有料化による効果等から判断し、決定した。生活保護世帯、福祉手当受給世帯などで所得の少ない世帯には4月から無償交付を実施し経済的負担の軽減を図っており、御理解いただきたい。

パークゴルフ場建設について

議会に説明をし、予算を認めて
いただいている



小西 浩昭 議員

問 盛土して一部人工芝生や芝生を植えるというが、それだけで流出の心配はないのか。また、芝生に対する除草として使用する除草剤は、人や生態系に影響はないのか。もっと、充分に住民の理解が必要ではないのか。

答 法面は根をよく張る芝生で計画しているが、漁業関係者からできれば護岸工事をしてほしいとの要望もあり、現在、国交省と協議を進めている。人工芝はテーパーショット部分だけで、それ以外は天然芝で計画している。農業は、周辺環境に影響が出ないものを使用したい。

その他の質問

○障害者スポーツ施設について

国保税滞納の資格証明について

資格証明は現在92世帯

問 現在、藍住町で資格証明発行状況は。具合が悪くなった町内の男性が資格証明では病院にはかかりづらく、短期保険証の発行を求めたが杓子定規の対応で、病状が悪化して手遅れの状態になった。命と健康を守る国保なのに資格証明の考え方は。

答 1年以上国保税を滞納され、納付相談に応じていただけない場合や取り決めた納付方法を履行していただけない場合には、やむなく健康保険証に代わる資格証明書を交付している。保険事業運営には保険料を納めていただくことが不可欠であり、税負担の公平性も重要であるので、御理解いただきたい。特別な事情により納付できない場合、例外的に適用を除外する制度もある。届出をしていただき、判断したい。

町長のヨーロッパ視察

この視察で学んだことを参考にし、生かしていくことが私の務めだと考えている

問 行政視察を否定するものではないが、八十七万円という公費を使い一週間かけてのヨーロッパ視察は、町民から税金のムダづかいと批判がある。八十歳の女性に息子さんと二人暮らしで息子さんの障害者年金八万円から四万円を家賃に支払い生活が大変だと嘆いていた。ヨーロッパまでいかなくても、福祉のことなら年寄りを集めて聞いてほしいの声など、しつかりと受け止めてほしい。

答 今回の視察研修の主な目的地と趣旨は、バルセロナにおける世界遺産登録に関する経緯、ロンドンにおけるイギリスの地方自治の研修、特別介護アパートの現場視察であった。今後の町政執行や事業推進の中で、この視察で学んだことを参考にし、生かしていくことが私の務めだと考えている。

高額療養費の未支給をなくす対策を

広報等の周知に努めたい



林 茂 議員

問 高額療養費未支給額が、町国保世帯全体で千八百八十三万円（平成十九年八月調査）ある。請求がなければ支払わないのでなく、未支給をなくするための対策をたてること。いま仕事もなく国保税を払いたくても払えない世帯が増加しているが、資格証明書発行世帯で六歳未満児は何人か。「滞納は子どもに責任はない」乳幼児医療費は無料化なので保険証は発行すること。

答 毎年国保のしおりを配布、周知しているが、該当者にはその都度通知、その後でまだ申請のない場合は、約半年後に再度通知している。今後の周知には、より一層工夫を講じたい。資格証発行世帯のうち、乳幼児は五人であるが、申請があれば、保険証を交付している。資格証になる時や更新時に申請書等を同封している。

汚染米の原因は輸入義務米、地産地消で消費拡大を図ること

関係機関と連携し、農業振興を推進したい

その他の質問

○下水道事業は再検討の時

問 藍住町は、大型店舗の相次ぐ進出や宅地化がすすんでおり、食料自給率の向上と整合性はあるのか見解を。

答 学校給食で米飯給食を増やす方向は、小麦粉パンから米粉パンへの切りかえる考えは。学校給食で米飯給食を増やす方向は、小麦粉パンから米粉パンへの切りかえる考えは。

問 藍住町は、大型店舗の相次ぐ進出や宅地化がすすんでおり、食料自給率の向上と整合性はあるのか見解を。

答 平成十九年六月に米粉パンを実施したが、一食当たりの単価にしてかなり価格差があり、継続的な導入には至っていない。

問 農地は減少傾向にあるが、利用集積の促進や農業担い手の育成に努めており、農業振興に取り組むことが食料自給率向上に繋がると考え



稲刈りの様子

11月3日、藍住町各種功労者表彰式が行われ、町議会議員として通算して12年以上となった者として、元議員の木内敏文氏、現職議員の奥村清明氏、喜田敏夫氏、佐野慶一氏が表彰されました。

各種功労者表彰



佐野慶一氏



喜田敏夫氏



奥村清明氏



木内敏文氏

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。

○お問い合わせ

議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局の受付までお気軽にお越し下さい。

なお、傍聴席の定員には限りがありますので御了承下さい。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関する御意見をお寄せ下さい。

投稿規定

- 1 住所・氏名・電話番号を明記
- 2 掲載時に匿名を希望する方は申し出て下さい。
- 3 字数は500字以内。
- 4 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

議員研修報告

10月27日、本町において板野郡町議会議員研修会が開催された。

まず、弁護士・野々木靖人氏より「地方公共団体の財政の健全化に関する法律について」の講演が行われた。同法は、地方公共団体の財政の健全化に関する比率の公表の制度を設け、その比率に応じて、地方公共団体が財政の早期健全化を図るための計画を策定する制度を定め、当該計画の実施促進を図るための行財政上の措置を講ずること等を目的としており、計画策定については議会の議決が必要なこと等の内容であった。

続いて、防災システム研究所所長・山村武彦氏より「災害現場に学ぶ行政と地域の防災・危機管理」の講演が行われた。同氏は、阪神・淡路大震災や中国・四川大地震、新潟県中越沖地震等、数多くの現場で現地調査を行っており、それらの現場での実際の話聞くことができ、大変参考になった。

この研修を、今後の町政に生かしていきたい。



わたしの一言

矢上 嘉重 圭 佑さん

私が子供の頃は、家の周りは畑ばかりで、今みたいに大型スーパーや住宅は、ほとんどありませんでした。あたりには自然が多く残っており、学校が終わると戸外で友達と遊んでいました。

最近では、昔のように外で鬼ごっこや缶けりをして遊んでいる子供達の姿を見ることは少なくなりました。今の子供達は、家でテレビゲームをしたりして遊んでいることが多いようです。私も2児の父親になり、子供のことを考えると、外で思う存分遊んでほしいと思うのですが、今は、小学校の下校中に児童が車に連れ込まれそうになったりするなど、不審者がどこにいるのか分からないので、心配でなりません。子供達がのびのび成長していくためには、地域社会の協力が欠かせないと思います。藍住町民全体で安心して暮らしていけるような社会を目指していきたいものです。



議会のバィル Schedule

- 1日 県議長会行政課題研究会 (徳島市)
- 2日 あいずみ商工会納涼祭
- 6日 資格審査特別委員会
- 15日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会 (徳島市)
- 15日 河北町民号来町
- 20日 資格審査特別委員会
- 25日 資格審査特別委員会
- 27日 議会運営委員会
- 29日 農業振興地域整備促進協議会
- 1日 板野郡町議会議長会定例会・正副議長と県知事との意見交換会
- 3日 資格審査特別委員会
- 7日 藍住東中体育祭
- 10日 9月定例議会開会
- 15日 敬老のつどい
- 18日 9月定例議会一般質問
- 19日 資格審査特別委員会
- 20日 国民体育大会秋季大会壮行会
- 20日 南幼・南小運動会

9月

8月



秋のバラまつり

- 5日 身体障害者ふれあい大会
- 6日 資格審査特別委員会
- 10日 議会運営委員会
- 24日 資格審査特別委員会
- 27日 板野郡町議会議員研修会
- 29日 議会だより編集委員会
- 30日 四国地区町村議会議長会議員研修会 (香川県)
- 21日 北幼・北小・西幼・西小・東幼・東小運動会
- 24日 9月定例議会開会
- 10月

10月

議会だより編集委員会

委員長	西岡 恵子
副委員長	小西 浩昭
委員	喜田 敏夫
委員	平石 賢治
委員	西川 良夫

朝夕寒くなりましたね。今回、新しく編集委員になりました。議会にもだいぶ慣れましたが、まだまだ分からないことだらけなので、先輩議員の皆様のおかげで、先輩議員の皆様のおかげで、安心して暮らしていける藍住町になるようこれからも正しい審議、討議をしていきたいと思っています。

よいニュースはないもので、世界同時不況の懸念が強まったことや株価はバブル後の最安値になり、景気は低迷し、就職難、まだまだ続くだろう。「議会だより」では、よいニュースをお届けできるよう町政に取り組んでいきたいと思えます。

編集後記